

令和7年度 事業計画評価シート

新潟大学附属新潟小学校

(本年度、重点的に取り組む事柄)

全ての教育活動（授業や行事等）で、独創力を育成すること。
 ☆独創力…当校の教育活動全体で、育成したい資質・能力であり、自分の見方・感じ方に基づいて自ら追求し、新たな価値を見いだす力

学校関係者評価	
A	とても適切である
B	概ね適切である
C	あまり適切でない
D	適切でない
E	判定できない

評価項目	具体的評価項目及び指標	学校関係者(学校運営協議会)評価	
		評価	意見・理由
【義務教育を実施する学校として】 ・「確かな学力」「豊かな感性」「健やかな心身」のバランスの取れた育成	【具体的評価項目】 ・C R Tの結果。 ・年3回の学校生活アンケートの結果。 【指標】 ・C R T全国比110以上。 ・以下の学校生活アンケートにおいて、肯定的な評価をしている子供が90%以上。 「学校での授業を通して、ためになった、自信がついたと感じていますか（確かな学力）」 「学校生活で感動したり、うれしいなと感じたりすることがありますか（豊かな感性）」 「友達といっしょに勉強して、よかったなとか、ためになったなと思うことがありますか（豊かな感性）」 「体育の時間以外も進んで運動に取り組んでいますか（健やかな心身）」 「元気な生活を送れるように、寝る時間を多くとるようにしていますか（健やかな心身）」 「元気な生活を送れるように、好き嫌いせず食べていますか（健やかな心身）」	A	・学力は申し分ない。 ・保護者アンケート⑧「学校は子供の良いところを見つけてほめていると思いますか。」の肯定的な回答の割合が非常に高いことは評価に値する。 ・事業評価シートの重点事項は「独創力を育成すること」であるので、各評価項目に独創力に関することを入れるとよい。 ・児童アンケートと保護者アンケートを比較できるように同じような内容にするとよい。 ・児童アンケート①「学校は楽しいですか」の質問で、何が楽しいのかその中身を聞くとよい。 ・いじめについては児童だけでなく、保護者にもアンケートをとるようにするとよい。 ・「健やかな心身」にかかわる「睡眠時間」や「食べ物の好き嫌い」については、各家庭によるところが大きいので、この評価項目から外してはどうか。
【教育研究を推進する学校として】 ・独創力を育成する研究実践とその発信 ・大学教員との共同研究や研究協力	【具体的評価項目】 ・独創力の育成に関する授業研究の取組とその発信（初等教育研究会及びその他オンライン研修）。 ・大学教員との共同研究において授業実践の実施や研究の協力。 【指標】 ・初等教育研究会やオンラインでの研修を10回以上行い、参加者の満足度における肯定的な評価が80%以上。 ・大学教員との共同研究や研究協力を3回以上実施。	A	・授業研究はとてもよい。今後も進めてほしい。 ・オンラインは大変だと思うが、全国に発信できるので、今後も実施していくとよい。 ・大学との共同研究はとてもよい取組である。 ・学校はもっと子供の感情を育てるとよい。 附属新潟小学校が教育課程研究で進めている「どくそう」は、子供が没頭し、一つのことに熱中して取り組む学習であり、さらに充実・発展させるとよい。
【教員養成を行う学校として】 ・教育実習の実施 ・学校現場の実際と子供への指導の具体を伝える講座の実施	【具体的評価項目】 ・実習期間において、教職の魅力が伝わる内容の充実を図る。 ・教職をサポートする講座の実施。 【指標】 ・教育実習後の学生アンケートで「将来教職に就きたいと思う」と回答した学生が85%以上。 ・教職に関する各回の講座において参加者の満足度80%以上。	A	・大學生が教育現場を見ることはとても大切である。 ・教育実習では、教職の魅力ややりがいをしっかり伝えてほしい。 ・実習後のアンケートは、定量評価（5段階評価等）できるものにするるとよい。